

## 和泉キャンパス新教育棟設計への参画は 建築家としての自分を築いてくれた 母校への恩返し

鎌倉と金沢で育つ中で古都の伝統的な建築物に触れ、自然を身近に感じながら鳥や昆虫の図鑑を眺めて育った少年時代。動物の巣や秘密基地などに憧れて小さな空間を自らの手で作っていたあの日の記憶は、私が建築家を志した原点です。

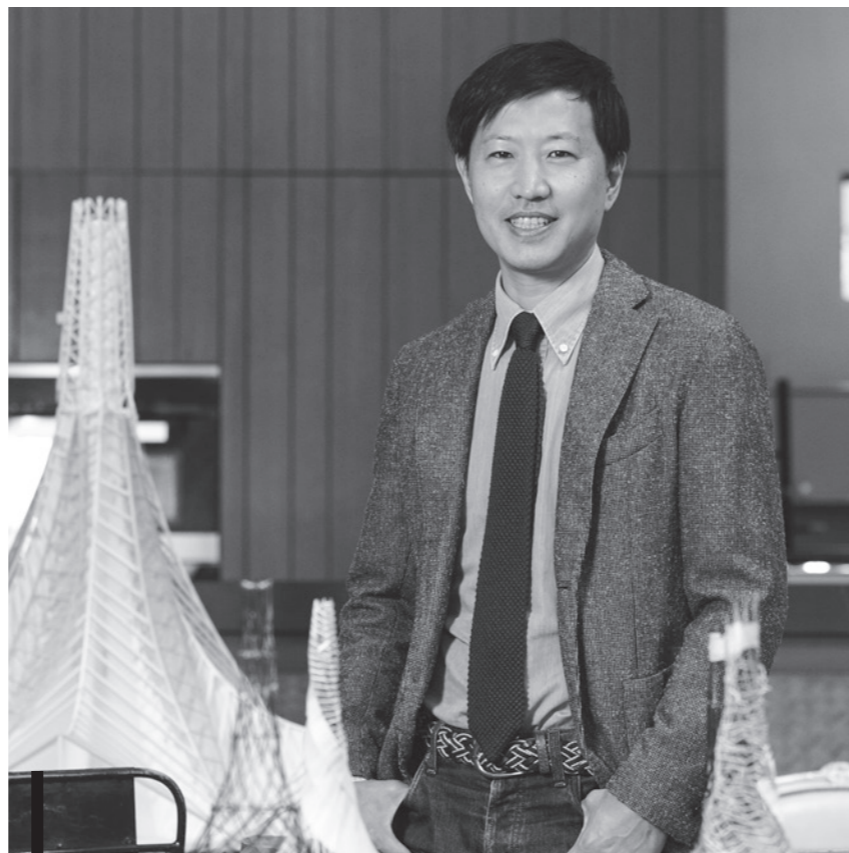
大学教員であった父の「大学での学びを究めるには、尊敬できる先生との出会いが大切」との言葉から、現役の建築家として大学で教える先生のもとで学びたいと思い、明治大学へ。在学中は授業のほかに、自主的に立ち上げた研究会で仲間たちと切磋琢磨し、建築意匠論について議論を交わす日々を過ごしました。

いつか母校の校舎を設計したいと描いた夢は現実のものとなり、2022年竣工予定の和泉キャンパス新教育

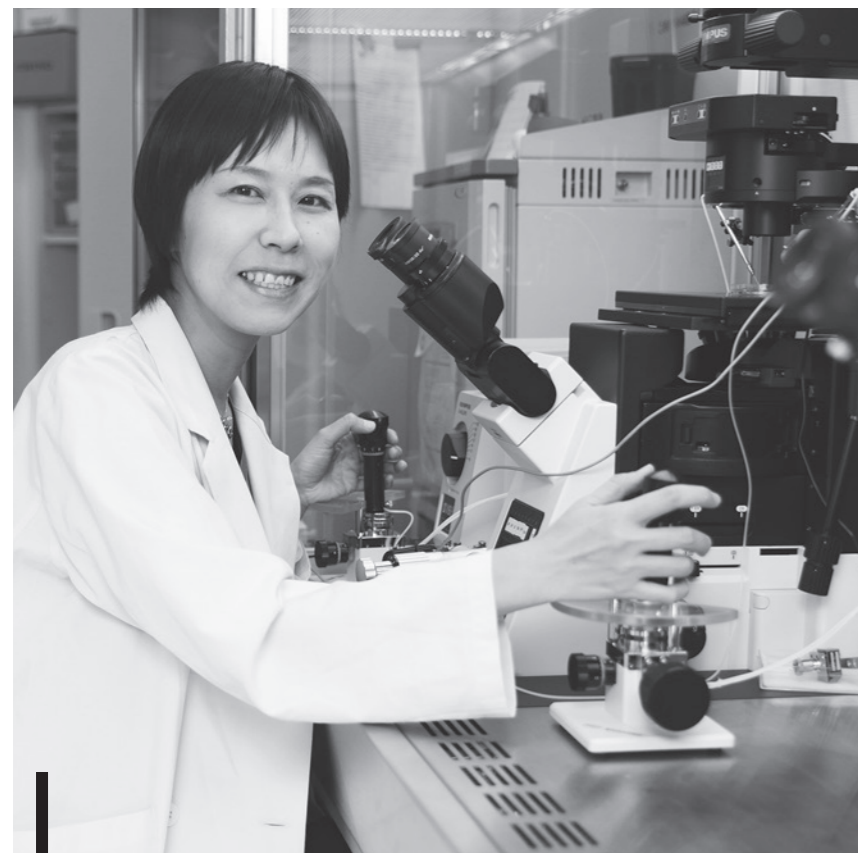
棟(仮称)の設計に参画する機会をいただきました。

現代の校舎には単なる教える、教わるの関係を越えた、双方向で創発的な学びの場が求められています。そこには、語らいがあり、出会いがあり、人の動きがあります。

建築とは作家性を追い求めるものではなく、地域の風土や歴史、敷地の地形や自然、そこで活動する人々のふるまいや気持ちに寄り添い、尊重すべきもの。新教育棟の設計においても、建築学科の創始者で、建築家である堀口捨己先生の精神を継承し、明治大学の建学の精神である「権利自由、独立自治」を顕在化しながら、学生の自由な活動を引き出し、校舎への愛着や能動的な学びを促す場を生み出したいと考えています。



株式会社NAP建築設計事務所 代表取締役  
建築家  
中村 拓志さん(1999年 理工学研究科博士前期課程修了)



山下湘南夢クリニック 高度生殖医療研究所 室長  
胚培養士 兼 研究員  
中田 久美子さん(2004年 農学研究科博士前期課程修了)

## 一人でも多くの人に赤ちゃんを抱いてほしい その一心で臨床研究に取り組む日々 いつかは不妊治療のいらぬ世の中に

高校生の頃に、不妊治療で多胎妊娠したにも関わらず胎児の数を減らす減数手術のテレビ番組を見た時の衝撃は忘れられません。なぜ、せっかくできた生命をなくさなければならないのか。どうしたら生命を守れるのか。それが、私を体外受精や不妊治療技術の研究へ向かわせた原動力となっています。

発生工学分野で豊富な研究実績をもつ明治大学農学部への入学後は、「一流の培養士になりたい」との一心で、長嶋比呂志先生の研究室の門戸を叩きました。そして、先生の「隙間の美学」という言葉に感銘を受け、自分にしかできない研究に特化する姿勢を貫いてきました。在学中から不妊治療の現場で研究に携わりましたが、一度は自分の方向性に悩んで現場を離れ、自分自身の出産や流産も経て、不妊治療の現

場でまだやるべきことがあると、現職へ。一人でも多くの患者さんに赤ちゃんを抱いてほしい。その思いで、男性不妊治療の臨床研究を重ね、新しい技術を開発する日々です。現在は国際学会での研究発表や、胚培養士への技術指導のワークショップも開催しています。

胚培養士は自分が関わることで生命が誕生するという喜びがある反面、精子と卵子の行く末を握る責任の重い仕事であり、絶対に間違いは許されないため、高い技術が求められます。晩婚化が進み、不妊治療で誕生する赤ちゃんが増えています。いつかは不妊治療のいらぬ世の中になってほしいものです。そのためには、女性が若いうちに子供を産み、誰もが平等に子供を育てていけるような環境整備が進むことを期待しています。

## 日本の心とホスピタリティを 世界に届け続けたいと気づかせてくれた 海外インターンシップ

「お客様に笑顔で空の旅を楽しんでいただけるように」と努め、客室乗務員として世界の空を飛び回る日々。私が今、こうして自分の希望をかなえることができているのも、在学中に参加した留学プログラムがあったからこそだと実感しています。

厳しい選考を経て参加した国際日本学部独自の留学プログラム「フロリダ州立大学ウォルト・ディズニー・ワールド提携 アカデミック・インターンシップ」。このプログラムでは、フロリダ州立大学で10日間導入教育を受けた後、ディズニー・ワールドで実際にキャストとして週30~40時間の業務実習を行います。インターンシップでは、お客様に両手で商品を渡しただけでも、「日本人らしい心遣いがうれしい」と喜ばれ、あらためて、世界に通用する日本人のおもてなし

の心とは何かを考えさせられたものです。そして、さまざまな文化背景を持つお客様へのサービス提供について学び、新しい価値観を得ることができました。

この体験により、「日本の良さやホスピタリティを世界に伝えたい。日本の航空会社の客室乗務員になることが、自分の思いを実現できる」と確信し、自分の将来像を描くようになったのです。

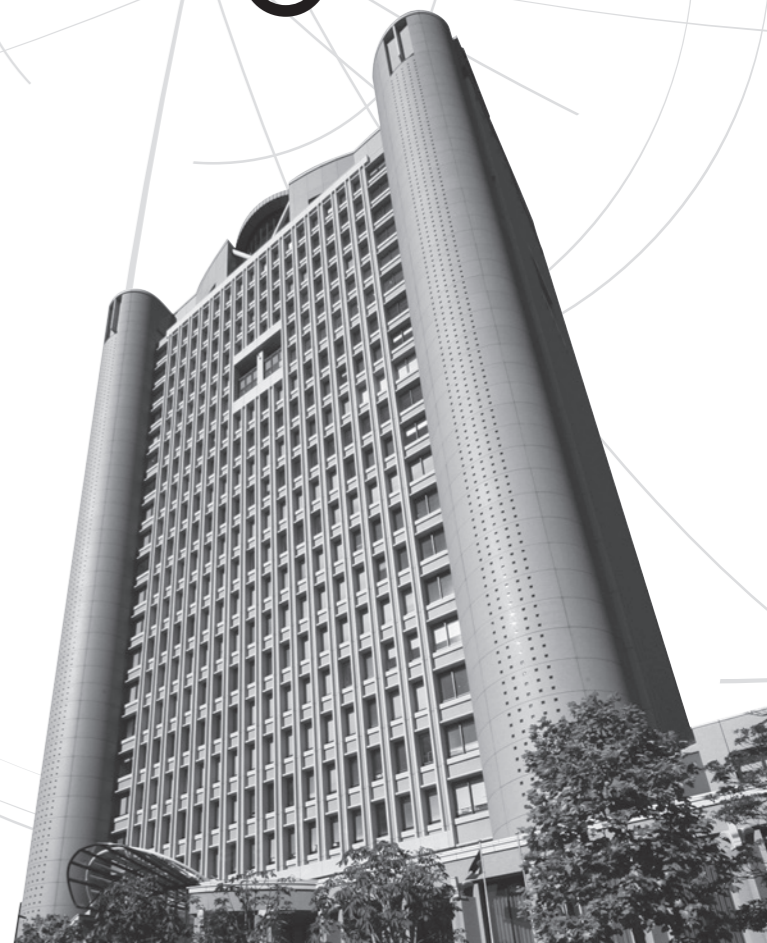
在学中に授業で学んだ漫画やアニメなどの日本のポップカルチャーは、今、実際に仕事をするうえでも生かされ、アニメグッズを持った外国人のお客様に「日本のアニメが大好きですか」と声をかけると、そこから話題が広がることもよくあります。これからも、日本人の心とホスピタリティを世界のお客様に届け、客室乗務員として社会に貢献していきたいと思っています。



全日本空輸株式会社  
客室乗務員  
畑井 美咲さん(2016年 国際日本学部卒業)

世界に誇る教育力と研究力で社会に貢献

# 明治大学で、 未来は広がる。



駿河台キャンパス リバティタワー

グローバル時代を迎え、知識基盤社会が進展するなか、新たな価値を創造できる力が求められる。明治大学は、世界に誇る教育・研究を通じて、幅広い分野で活躍できる、強い「個」を持つ人材を輩出している。

2019年1月4日Web出願受付スタート!

明治大学の一般入学試験(一般選抜・全学部統一・大学入試センター試験利用入学試験)はWeb出願です。

◎詳細等は、一般入学試験要項(明治大学ホームページで公開中)を必ずご確認ください。

学生を支える、充実のサポート体制

就職に力を入れている  
大学ランキング9年連続1位\*

学生一人ひとりに合わせたキャリアデザインをサポートしています。エントリーシートや筆記試験対策の講座・セミナーを多数開催。また、企業の担当者と連携し、的確なマッチングを行うなど、「就職の明治」として高く評価されています。

\*大学通信調べ

充実の奨学金制度

約80の多彩な奨学金制度で学生生活をバックアップしています。2018年度以降、定期的に募集を行っている奨学金はすべて返還の必要がない「給付型奨学金」で、給付額は私立大学でもトップクラス。在学生の約3分の1が奨学金を利用しています。

通学に便利な学生寮

一人暮らしを始める学生に国際混住寮や推薦学生寮を紹介しています。留学生と日本人学生が共に生活し、学ぶ「国際交流の場」として「狛江インターナショナルハウス」に加え、2019年春には和泉キャンパスに「明治大学グローバル・ヴィレッジ」がオープンします。



# 明治大学

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 TEL.03-3296-4545(代) <https://www.meiji.ac.jp>